

USPTO、ガン予防技術に関する出願の審査を迅速に行う試行プログラムを発表

2022年12月16日
JETRO NY 知的財産部
石原、福岡

USPTO はガンを予防する技術、ガン死亡率を下げる技術などに関する特許出願の審査を迅速に行う試行プログラム (Cancer Moonshot Expedited Examination Pilot Program) を 2023 年 2 月 1 日に開始するを発表した。12 月 9 日付の官報¹で発表された。

このプログラムは、バイデン大統領が掲げた今後 25 年間でがん死亡率を少なくとも 50%削減するという目標²を支援するものとしている。USPTO の Vidal 長官も「ガンの予防と治療の分野においてイノベーションを起こすことが、バイデン大統領が掲げる目標を達成するための手段である」と発言している。

このプログラムは USPTO が 2016 年 6 月から開始していたガンの免疫療法に関する特許出願を早期に審査するプログラム (Cancer Immunotherapy Pilot Program) の拡張版であり、2 月 1 日付で今回のプログラムに置き換わるとしている。

対象となる発明はガンの治療やガンの発生を抑制する方法に加えガンを検出する方法やニコチン依存症の治療法や禁煙を促進する方法なども含まれる³。このプログラムは、2025 年 1 月 31 日またはプログラムの対象案件が 1,000 件に達するいずれか早い日まで申請を受理するとしている。

USPTO では、今回のプログラムの他にも以下の審査を迅速に行う施策を実施している。

- Climate Change Mitigation Pilot Program⁴
温室効果ガスの排出を削減する技術に関する特許出願を早期に審査するプログラム。2023 年 6 月 5 日またはプログラムの対象の案件が 1,000 件に達するいずれか早い日まで申請を受理するとしている。本プログラムは、2021 年 1 月 27 日付の気候変動の危機への対応に関する大統領令⁵を支援するための施策としている。
- COVID-19 Prioritized Examination Pilot Program⁶
食品医薬品局 (FDA) の承認を受けている COVID-19 に関連する製品などに関する特許出願について優先的に審査を行うプログラム。申請は 2022 年 12 月 31 日を期限としている。

¹ <https://www.govinfo.gov/content/pkg/FR-2022-12-09/pdf/2022-26776.pdf>

² Fact Sheet: President Biden Reignites Cancer Moonshot to End Cancer as We Know It

³ 対象となる発明の詳細や申請方法については、官報の 75609 頁以降を参照。

⁴ Climate Change Mitigation Pilot Program

⁵ Executive Order on Tackling the Climate Crisis at Home and Abroad

⁶ <https://www.uspto.gov/initiatives/covid-19-prioritized-examination-pilot>

- Prioritized Patent Examination⁷（優先審査）
Track One とも呼ばれている施策であり、手数料（Micro Entity：1,050 ドル、Small Entity：2,100 ドル、その他：4,200 ドル）を支払うことで、Accelerated Examination（後述）で求められる説明などの追加の要件なく優先的に審査を受けることができる。2022 年 12 月時点の情報では、優先審査の申請から申請が許可されるまでの期間が平均 1.9 カ月、申請が許可されてから最終処分までの期間が平均 4.5 カ月としている。

- Patent Prosecution Highway⁸（特許審査ハイウェイ：PPH）
外国特許庁との取り決めに基づき、第 1 庁で特許可能と判断されたクレームを有する出願について、第 2 庁の USPTO において早期審査を受けることができる。2022 年度（2021 年 10 月から 2022 年 9 月）の実績では、PPH の申請から申請が許可されるまでの期間が平均 51.9 日、申請が許可されてから最終処分までの期間が平均 94.5 日としている。

- Accelerated Examination⁹（早期審査）
出願人が審査の補助資料（Examination Support Document（ESD））や手数料（Micro Entity：35 ドル、Small Entity：70 ドル、その他：140 ドル）を支払うことによって早期審査を受けることができる。ESD には、出願人による先行技術調査の結果や発明に特許性があることの説明を記載する必要がある。ESD の負担が大きいことから知財関係者の中で Accelerated Examination を推奨する声は少ない。2015 年の情報では、早期審査の申請から申請が許可されるまでの期間が平均 3.3 カ月、申請が許可されてから最終処分までの期間が平均 9.3 カ月としている。

（以上）

⁷ USPTO's Prioritized Patent Examination Program

⁸ Patent Prosecution Highway (PPH) – Fast Track Examination of Applications

⁹ <https://www.uspto.gov/patents/initiatives/accelerated-examination#heading-4>